

門脇中 学校自慢新聞について

○98%の生徒が「柏陵生でよかった」と回答しているとのことですが、どんな時に柏陵生で良かったと感じたのか教えてください。

⇒運動会や文化祭等の学校行事では、皆が励まし合い、一つになって取り組むことができ、絆を深めることができたと感じた。また、毎日、楽しく学校生活を送ることができていることから柏陵生で良かったと思いました。



⇒毎日の何気ない会話も楽しく感じる。相手を思いやりながら声を掛けているからだと思います。

○母校である大街道小学校であいさつ運動を行うというすてきな活動があるようですが、この活動を続けてきて良かったと思うことは何ですか。

⇒多くの後輩たち、通学途中の先輩方にも顔を合わせることができ、たくさんのコミュニケーションが取れた。できるだけ笑顔で元気にあいさつするなど、小学生の手本になるように心掛けました。

○最後の柏陵文化祭で「門の恩返し」という劇を行ったとのことですが、どんな内容の劇だったのか、詳しく教えてください。

⇒門脇中学校の歴史を振り返り、3年間の思い出を劇にしました。門脇中学校に関わる全てのことに感謝を伝える内容でした。



○4月からの統合に向けて石巻中学校と交流を行ってきたそうですが、交流で最も印象に残っているのはどんな場面ですか。また、4月から石中生とどんな学校をつくらしていきたいか教えてください。

⇒石巻中学校と、両校の生徒の自己紹介や百人一首をして交流を深めました。皆が気持ちよく生き生きと生活できる学校にしていきたいと思っています。



○最後に門脇中学校のすばらしさを一言でいうと？

⇒皆が絆を感じながら、日々の生活に感謝と思いやりの気持ちをもち、学校生活を送っているところ。